

スタートアップガイド



本装置を安全に正しく使用するために必要な情報が記載されています。本書は、必要に応じて参照できるよう、お手元において置くようにしてください。本装置をご使用前に本書をお読みください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

使用上のご注意

本装置を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。本書は大切に保管してください。

安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本装置および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告 人が死亡する、または重症を負うおそれがあることを示します。

注意 火傷やけがなどを負うおそれや物的損傷を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
記号	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
記号	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中や近くの絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: 電源プラグを抜く

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない	警告
	指定された電圧のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれがあることを示します。
	けがをすおそれがあることを示します。		爆発または破裂のおそれがあることを示します。

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定された場所には触れないでください。感電や火災などの障害のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	火を近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

安全上のご注意

全体的な注意事項

	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
	分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが発生した場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

	日本国外で使用しない 本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
	装置内に水や異物を入れない 本装置内に水などの液体、ビンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

	警告 	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
	注意 	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
		たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
		電源ケーブルを持って引き抜かない ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。
		中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
		指定以外の電源コードを使わない 本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ●コード部分を引っ張らない。 ●電源コードをはさまない。 ●電源コードを折り曲げない。 ●電源コードに薬品類をかけない。 ●電源コードをねじらない。 ●電源コードの上にものを載せない。 ●電源コードを束ねない。 ●電源コードを改造・加工・修復しない。 ●電源コードをステーブラなどで固定しない。 ●損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
		指定以外のACアダプタを使わない 本装置に添付されているACアダプタを使わないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。
		添付の電源コードおよびACアダプタを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードやACアダプタは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使わないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

	注意 	指定以外の場所に設置・使用・保管しない 本装置を次に示すような場所に置かないでください。火災や故障の原因となるおそれがあります。 ■ ほこりの多い場所。 ■ 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ■ 不安定な場所。 ■ 直射日光が当たる場所。
		腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫酸など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、故障および火災の原因となるおそれがあります。もし使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
		急激な温度変化環境で開梱または使用しない 本装置は、急激な温度変化を受ける環境で開梱または使用しないでください。結露により、故障および発熱・発火の原因となるおそれがあります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にとってから開梱または使用してください。
		電源プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インタフェースケーブルなどの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を引き起こすことがあります。
		指定以外のインタフェースケーブルを接続しない インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ■ 破損したケーブルコネクタを使用しない。 ■ ケーブルを踏まない。 ■ ケーブルの上にものを載せない。 ■ ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ■ 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

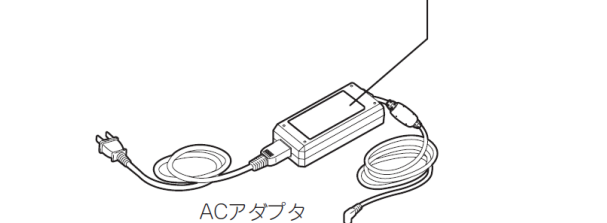
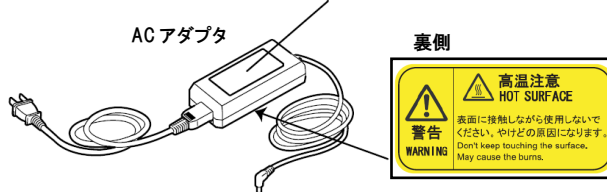
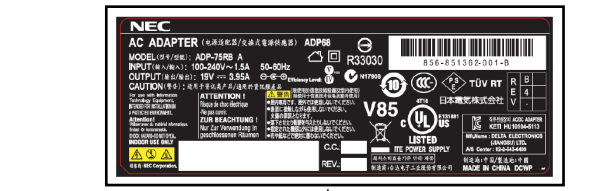
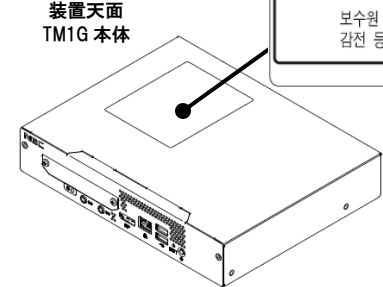
	警告 	分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
		リチウム電池を取り外さない 本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、リチウム電池の寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずに買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡してください。
		電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや本装置の取り付け/取り外しは、本装置および接続機器の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまると、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	注意 	中途半端に取り付けけない 電源ケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付け付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発熱や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

	注意 	雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。
		ペットを近づけない 本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。
		ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。
		巻き込み注意 本装置の動作中は冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをすおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める場所には、警告ラベルが貼り付けてあります。これは、本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしている時は販売店にご連絡ください。



製品の譲渡と廃棄について

本装置を譲渡または廃棄する際は、本装置に内蔵されているUSBメモリに保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されていないようお客様の責任において確実に処分してください。

- 第三者への譲渡について
本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しください。
- 消耗品・本体装置の廃棄について
本装置およびオプション製品などの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源ケーブルや AC アダプタにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本装置と一緒に破棄してください。本体に搭載されているバッテリーの廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

警告
 リチウム電池の取り扱いに注意する
本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

航空・海上輸送について

本装置には、リチウム電池を使用しています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本装置を航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

スタートアップガイド (裏面)

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

本装置の梱包品の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。

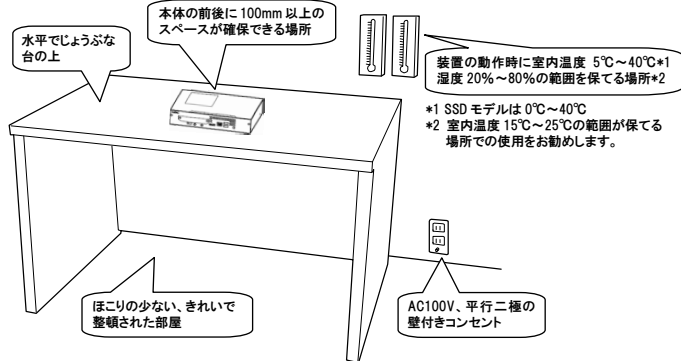
Step 2 適切な場所に設置する

本装置の設置にふさわしい場所は次のとおりです。本体をしっかりと持ち、ゆっくりと静かに設置場所に置いてください。

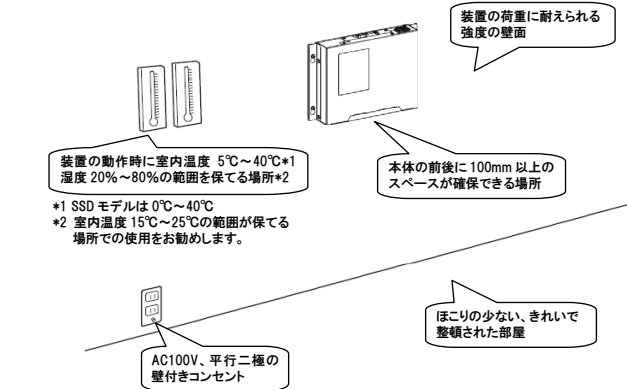


- 本体の設置は電源がOFFの状態で行ってください。
- 本装置に衝撃を加えないようにいねいに取り扱いってください。
- 本装置を設置するときには、本体の前後に100mm以上のスペースを確保してください。

■ 卓上設置



■ 壁面設置イメージ



- TM1G単体での壁面設置はできません。TM1Gを壁面やディスプレイ背面へ設置するには、別売りの取り付けキットを使用することを推奨いたします。取り扱いについては、取り付けキットに添付されている取扱説明書を参照してください。
- 壁面に設置するときには、ACアダプタを吊り下げたままにせず、必ず固定してください。

Step 3 インタフェースケーブルを接続する

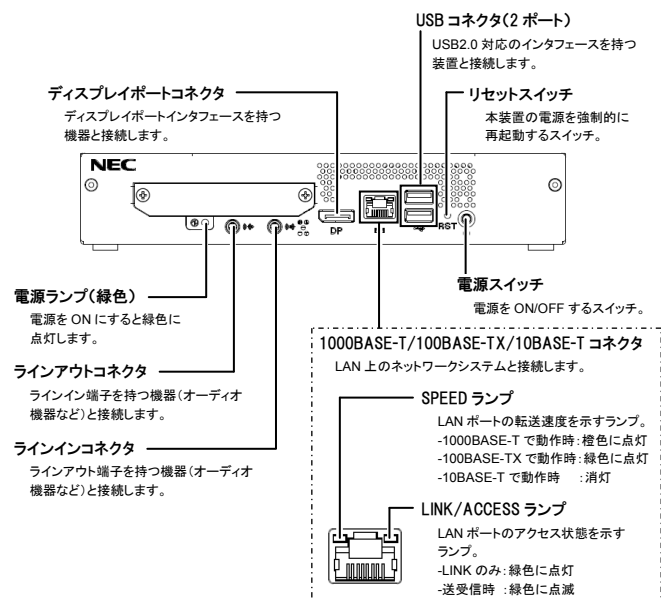
インタフェースケーブルを本装置にあるコネクタに接続します。

周辺機器を接続してから添付の電源コードを添付のACアダプタと本装置に接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。

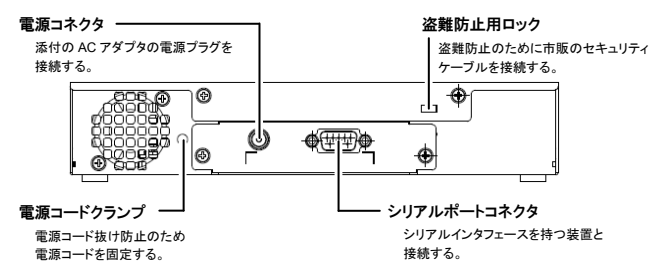


- システムBIOSのSETUPを操作するためには、本体にUSBキーボードを接続してください。
- キーボードやマウスは本製品に添付されていません。
- セットアップを完了するまでは、キーボードやマウス以外の周辺機器を接続しないでください。

■ 装置前面



■ 装置背面



必ず、表側の「使用上のご注意」をお読みください。安全に関わる大切な注意事項が記載されています。

箱を開けてから本装置が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

安全に関するご注意

本装置をセットアップする前に、表側の「使用上のご注意」をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

警告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 分解・修理・改造を行わないでください。

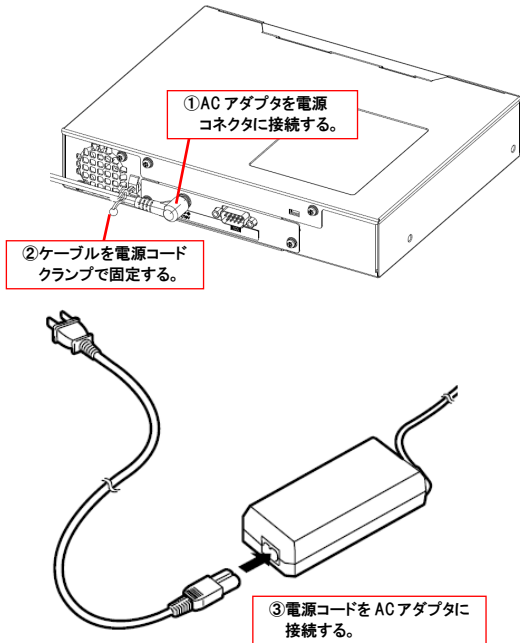
注意

- 水・湿気・ほこり・油・煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コードおよびACアダプタ以外を使用しないでください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

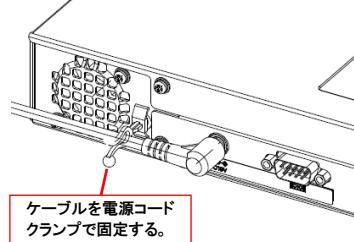
Step 4 電源ケーブルを接続する

周辺機器との接続が完了したら、最後に電源コードを接続します。はじめに添付のACアダプタを本装置の電源コネクタに接続し、電源コードクランプで固定します。ケーブル固定後、添付の電源コードをACアダプタに接続します。最後に電源コードのもう一方のプラグをコンセントに接続してください。

電源プラグをコンセントに接続すると、電源ONします。



- 添付のACアダプタおよび電源コード以外のものを使用しないでください。本装置の故障の原因となります。
- ACアダプタおよび電源コードが破損した場合は、お買い求めの販売店に連絡してください。
- ACアダプタを本装置の電源コネクタに接続するときには、ケーブル抜け防止のため電源コードクランプでケーブルを固定してください。



- 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容をメモして保守サービス会社に連絡してください。

Step 5 電源のON/OFF

■ 電源 ON

1. 電源プラグをコンセントに接続すると、電源ONします。
2. 装置の構成やシステムの用途に応じてシステムBIOSの設定を変更します。本体の電源をONにするとディスプレイ装置の画面下に次のメッセージが表示されます。

Press <F2> to enter setup.

システムBIOSの設定を変更する場合は、ここで<F2>キーを押してください。システムBIOSのSetup Menuが起動します。



- 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容をメモして保守サービス会社に連絡してください。
- POSTおよびシステムBIOSのSetup実行中は、USBデバイスの挿抜を行わないでください。

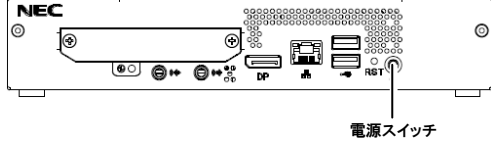
3. OS(Operation System)の初期設定を行います。初期設定には、USBキーボードおよびUSBマウスが必要です。

■ 電源 OFF

オペレーティングシステム(OS)からシャットダウンを実行します。



- シャットダウン後に再度電源ONする場合は、装置前面にある電源スイッチを押して電源ONします。



- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- (4) 弊社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求に関しましては、(3)に関わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器としての使用またはこれらに組み込まれた使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、弊社製品の故障により、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

© NEC Corporation 2013
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
このマニュアルは再生紙を使用しております。